

科の説明

形成外科では創傷治癒理論に則った洗練された外科手技を用いて、主に軟部組織の疾患や異常を治療します。治療の領域は先天奇形から外傷・再建まで幅広く扱っていますが、中でも顔面外傷や四肢の外傷が多くあります。研修医は体表の外傷の診察、治療が救急で十分できるように、創傷の管理について外来、手術の中で学んでいただきます。

一般目標

日常診療の中で診療チームの一員として、まずは外傷の初療や皮膚縫合法などの基本的手技の習得を目指します。また創傷に関連して、熱傷・褥瘡の治療についても理解することを目指します。

行動目標

- 1) 創傷の治癒の過程を理解する。
- 2) 創傷の初期の評価法について理解する。
- 3) 創傷の処置に必要な物品（器材・薬剤）などについて使用法を説明できる。
- 4) 表在性の創傷（骨折、深部臓器の損傷がない）の診療に参加する。
- 5) 救急外来で縫合できる創傷を判断し、実際に縫合処理をおこなうことができる。
- 6) 救急外来での熱傷の深度、面積の評価ができる。

経験目標

- 1) 創処置の方法：創部の状態、部位、処置材料に応じた創処置の方法を習得する。
外傷の処置；局所麻酔法を実施できる。縫合できる創傷を判断し、実際に縫合処理を行う。
顔面の挫創に対する創処置を行う。
慢性の創傷についても、軟膏処置や創傷被覆材を使用できる。
熱傷の治療；熱傷について初期治療に参加できる。局所処置に用いる薬剤について理解する。
褥瘡の治療；成因、保存的治療、外科的治療、予防法について理解する。
- 2) 基本的手術手技：
皮膚切開術 皮膚の膿瘍の単純切開を局所麻酔下でおこなう。
皮膚腫瘍切除術 簡単な皮膚腫瘍の摘出術を行う。
形成外科的縫合法；皮膚縫合法を実施できる。顔面などでは真皮縫合を行う。

指導医と組んで外来、入院患者の診療を行いながら学びます。

指導体制

現在は一人体制のため、外来・手術ともマンツーマンで診療にあたる。

週間スケジュール

	午前	午後
月曜日	外来診療	
火曜日	外来診療	
水曜日		
木曜日	外来診療	
金曜日		

週間スケジュールについては今後、変更の可能性あります。

定例研修会等

現在、形成外科は一人体制のため、院内での研修会などは行っていない。日本形成外科学会の関連学会、熱傷地方会、褥瘡学会などは希望があればいずれの日程でも参加可能です。また名古屋大学形成外科教室のカンファレンスにも希望があれば参加可能です。

具体的な研修方法・留意事項

- 1) 診察、処置などは、全て指導医の指導・助言の下に行う。
- 2) 外来、手術とも診療に参加できます。特に手術は第一助手として参加できます。また外傷に対する縫合処理は積極的に行ってもらいます。